

視察研修報告書

1	委員会名
	文教民生常任委員会
2	実施名称（テーマ）
	町内文教民生常任委員会に関連する施設の今後の運営にあたり県外の施設状況の実情を見る。
3	実施期日
	令和7年10月23日（木）～24日（金）
4	実施場所
	・氷風穴（小諸市）長野県小諸市大久保 ・戦没画学生慰霊美術館 無言館 長野県上田市古安曾 ・鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院 長野県上田市鹿教湯温泉
5	実施目的
	・氷風穴 氷風穴の現状と活用について。 ・戦没画学生慰霊美術館 無言館 平和教育について。 ・鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院 地域住民と医療施設について など
6	参加者の氏名
	委員長 大場 壮次 副委員長 原沢 香司 委員（副議長） 小栗 芳雄 委員 割田三喜男
7	その他

視察研修等委員別報告書

1	作成者氏名
	大場 壯次
2	視察研修の実施名称（テーマ）
	<ul style="list-style-type: none"> ・氷風穴（小諸市）：氷風穴の活用について ・戦没画学生慰霊美術館 無言館：平和教育について ・鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院：地域住民と医療施設について
3	実施結果に対する所感、意見等（質疑・意見交換した内容、今後の町政に生かすべき点等）
	<p>・氷風穴 氷風穴の里保存会 事務局長の前田重雄さん他メンバーにより現地で説明を受けた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・氷風穴の事業を昭和初期に廃業してから、風穴は徐々に使用されなくなり、屋根も朽ち果てていた状態であったが、それがまた見直され始め、平成28年2月に村の有志により、「風穴の里保存会」が発足し、維持管理している。かつては、10基あった風穴は、1基（4号風穴）のみが使われている。 ・氷風穴の立地条件は、集落に近く、交通の便も良く、駐車場から3分程で現地に着く。 ・5基程ある氷風穴の状態は、空石積みで中空になっており、5基ある1基のみ簡易な屋根があり漬物や酒類が保管されていた。 ・氷風穴の維持管理は、「氷風穴の里保存会」で行っている。直接小諸市はタッチしていない様子。 ・氷風穴の見学者は、年間5千人程とのこと。場内に協力金箱があり、ちなみに千円投函。 <p>・戦没画学生慰霊美術館 無言館 絵を学びながらも志半ばにしてお国のために戦地に赴き、無念の死を遂げた二十歳代の若者の作品を集めた美術館を拝観</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国策に従えば間違いないと、お国のために見知らぬ国に送り出された若者が戦地で散った。今の日本は穏やかで平和であるかと思うが、世界を見ると国際紛争や戦争が収まらず、なぜ収まらないのかと常に思う。 <p>・鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院 鹿教湯病院の駐車場から鹿教湯病院に歩いて向かうのに立地条件が沢渡温泉にあるゆうあい荘に似ているように見えたので驚いた。</p> <p>※ 鹿教湯三才山リハビリテーションセンター各担当より説明を受けた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿教湯三才山リハビリテーションセンター再編成事業概要について ・中之条町議会文教民生常任委員会からの質問に対する回答（6質問） <p>その中の一つの質問で「現在の運営で改善すべき点があるか。今後の課題があるか」についての回答 大型投資後の資金回収：当会の方針として6年後に黒字化が求められる。</p>
4	その他（今後の課題・調査研究すべきテーマ）
	<p>中之条町の【東屋風穴】について、研修前に現地を見に行きましたが、工事中でブルーシートで覆ってあり現状がわからないが、どの程度の復元なのか見に行く通路等に課題があると思うので注視したい。</p>

視察研修等委員別報告書

1 作成者氏名 原沢香司
2 視察研修の実施名称（テーマ）
①氷風穴【長野県小諸市】（風穴の活用について） ②無言館【長野県上田市】（平和教育について） ③鹿教湯三才山リハビリテーションセンター【長野県上田市】（地域住民と医療施設について）
3 実施結果に対する所感、意見等（質疑・意見交換した内容、今後の町政に生かすべき点等）
<p>①年間約 5,000 人が訪れる風穴ということであった。地元の住民有志が保存会を結成し 9 年目で 90 名の組織となった。会が中心となりガイドやイベントの運営、風穴の整備を行っている。長野県や小諸市からは看板設置などの補助を得るが、基本的にはグッズの販売やイベントでの収入を財源として活動している。市の教育委員会もほとんど関知しておらず、自主的な活動を重視しているとのこと。町で整備を進める東谷風穴においても、地域住民の参画が欠かせないと感じた。地元の人たちにとって誇れるものでないと、持続した運営には繋がらないものと思った。</p> <p>②戦没した画学生の絵画を中心に展示している私設の美術館。戦後 80 年というタイミングもあってか、見学時は常に沢山の入館者があり大変賑わっており地域に経済効果を及ぼしている上に地域のイメージ向上にもつながっている。行政との連携はほぼないと思われるが、地域を循環するバスの停留所も設けられていたことから重要視されている。町にも「おろかも之碑」など戦跡というべき史跡もあるので、地元の子どもたちに学んでもらう機会を設けると良いと感じた。</p> <p>③2 つあった病院が統合され、診察から老健施設の運営まで幅広く地域の医療・福祉分野を担い、従業員も 800 人以上で、地域雇用に果たす役割も大きい。一方で奨学金制度を設けるも医療従事者の採用ができず困っている。建設事業費回収のため事業計画では早期の黒字化が求められるが、診療報酬が上がらず困難な状況である。老健施設も運営するが、半分は長い利用者で競合施設も多いとのことだった。病院の経営が全国的に厳しいなか、新しい施設をつくり運営していくことは容易ではないことを感じた。町「ゆうあい荘」の運営について、さらに研究を深める必要がある。</p>
4 その他（今後の課題・調査研究すべきテーマ）
どの分野も簡単な答えがなく地域ごとに条件が異なるため、引き続き様々な場所の取り組みを積極的に学んで行く必要があると感じる。特に病院に付随する老健施設の運営は、上手くいっている事例を見つけるのが難しいように思う。

視察研修等委員別報告書

1	作成者氏名
	小栗 芳雄
2	視察研修の実施名称（テーマ）
	<p>文教民生常任委員会県外視察研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長野県小諸市『氷風穴』 ・長野県上田市『戦没画学生慰霊美術館 無言館』 ・長野県上田市『鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院』
3	実施結果に対する所感、意見等（質疑・意見交換した内容、今後の町政に生かすべき点等）
	<p><u>『氷風穴』</u></p> <p>（結論）中之条町の「東屋風穴」の地理的条件の悪さを痛切に感じるとともに、保存・復元のあり方に疑問を感じた。</p> <p>（所感）風穴の規模の大きさに驚くとともに、現在も一部が漬物の貯蔵や日本酒の熟成に利用されている事、そして保存会が中心になり管理・運営を行っていないながら地理的条件や保存状態が良く、年間 5,000 人ほどの人が訪れていることに驚き・うらやましく感じた。</p> <p>（提案）中之条町の「東屋風穴」への取り組みは、立ち止まって考えなおす必要があると思う。</p> <p><u>『戦没画学生慰霊美術館 無言館』</u></p> <p>（結論）現在も世界各地で戦争や紛争が続いている。平和の大切さを再認識する必要がある。</p> <p>（所感）戦争が人生の希望・夢を簡単に打ち砕いてしまうことを痛切に感じさせられた。</p> <p>（提案）戦争の恐ろしさ、平和の大切さを知ってもらうための機会を設ける必要がある。</p> <p><u>『鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院』</u></p> <p>（結論）「群馬リハビリテーション病院」「ゆうあい荘」の充実移転をしてほしい。</p> <p>（所感）驚いたことがたくさんありました。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 長野県厚生農業協同組合連合会が開設者であること。 ② 病床数 475 床、職員数 851 名でリハビリテーションに専門特化した病院。 ③ 施設ではなく、そこで働く人が全て・働く人間が大事だという理念。 ④ 3 年・4 年務めると返済しなくていい、有利な奨学金制度がある。 ⑤ 再編成工事の全体費用は 61 億円弱だったが、今施工すると 150 億円位になりそう。 <p>（提案）現在「群馬リハビリテーション病院」の移転問題や、「ゆうあい荘」の在り方を検討しているが、現在の施設の再確認と他の施設の状況を把握して検討を進めてほしい。</p>
4	その他（今後の課題・調査研究すべきテーマ）
	今回の視察研修について、研究・立案・交渉・運転を担ってくれた副委員長に感謝します。

視察研修等委員別報告書

1	作成者氏名	
		割田三喜男
2	視察研修の実施名称（テーマ）	
		<p>文教民生常任委員会県外視察研修</p> <p>1 氷風穴（小諸市） 氷風穴の活用について</p> <p>2 戦没画学生慰霊美術館無言館（上田市） 平和教育について</p> <p>3 鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院（上田市） 地域住民と医療施設について</p>
3	実施結果に対する所感、意見等（質疑・意見交換した内容、今後の町政に生かすべき点等）	
		<p>1 氷風穴（小諸市）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在も稼働する日本最古の風穴を、地元の「氷風穴の保存会」が保存活用しており、その歴史そして保存活動をご教授いただき大いに参考となった。 ・ウェブサイトサイトに「氷風穴の里」で詳しく紹介されており、特に最新 NEWS も掲載されて上手く PR している。 ・平成 29 年 9 月 2 日「第 4 回全国風穴サミット in 信州小諸」を開催しており、その取組は評価が高いと感じた。 ・氷風穴は主要道に面しており、地理的条件も有利な面があると感じた。 <p>2 戦没画学生慰霊美術館無言館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵を学びながらも志半ばにして戦地に赴き、東南アジア等で無念の死を遂げた 20 代の若者の絵画を拝見し、戦争の無念さを感じた。 ・平日にもかかわらず多くの来場者があり、上田市のこの地に建設された経緯を知りたいと思った。 ・丘陵地に建設された十字架形をした建物は、ヨーロッパの僧院を思わせるものであった。 <p>3 鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9 月に再編成事業により竣工した当病院は総工費 60 億円であり、令和 10 年度には黒字化が求められるとのことであるが、大きな課題であると感じた。 ・地域の中核病院は、地域の関係者との連携強化が非常に重要であると思った。 ・特に、リハビリテーション医療・福祉・保健サービスの質を向上させ、総合的に地域に貢献する取組は、すばらしいと感じた。
4	その他（今後の課題・調査研究すべきテーマ）	
		<ul style="list-style-type: none"> ・各種事業を実施するにあたり財源に限りがあるので、ワイズスペンディング（賢い支出）を考慮し、政策効果を十分考慮し進めていく必要がある。